

ベストショット こうやって撮っています

毎月1枚を目安にお渡しさせていただいている「ベストショット」について
筆者が担当する子どもたちを撮影する時に意識していることをご紹介します。
絞り値がどう、シャッタースピードがどう、光の向きが・・・などいろいろありますが、
より簡単に実践しやすいポイントのみに絞りました。
お家やお出かけ先で子どもたちの写真を撮る時の参考になればと思います。

すこし離れて撮る

良い表情が撮れたら、子どもの姿だけでなく周りの景色も合わせて写すことで、その時の状況を一緒に残すことができます。
(一枚に絞る時は後者を選ぶようにしています)



子どもの目線の高さで撮る

腰を落として、同じ目線から話しかけることでカメラに意識を向けてもらいやすくなります。
カメラ目線でもなく、顔をしっかりと捉えることが容易になります。



先っぽまでおさめる

良い表情でも頭や足の先が画角からはみ出ていると、ちょっと惜しい感じに…。
「すこし離れて撮る」ことで激しく動き回る子どもの姿も、余裕を持っておさめることができます。先っぽまで写っていれば、全体のバランスは後からトリミングで調節すればOK!



言い出せばキリがないくらいに様々な撮影テクニックがありますが、以上の3点は一眼レフカメラでもスマートフォンでも活用できるはずです。夏休みはお出かけすることも一日お家で過ごすことも増えると思いますので、ちょっと工夫して、いつもよりさらに綺麗に子どもたちの素敵な姿を残してみたいかがでしょうか。

